

# 平成30年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年10月23日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,188億円余
2. 前年同月比	0.3% (2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.4%(91.5%) : 非店頭-1.7%(8.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	841,407㎡ (前年同月比:-0.3%)
6. 総従業員数	17,726人 (前年同月比:-2.4%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 0.8%、3-5月 1.0%、4-6月 3.4%、 5-7月 1.0%、6-8月 1.1%、7-9月 -1.2%

[参考] 平成29年9月の売上高増減率は4.6%

### 【特徴】

- (1) 9月の東京地区は台風などによる影響を受けながらも、各社が展開した物産催事、カード会員やインバウンド向け施策などが奏功。改装効果により大幅な客数増や、新規顧客の取り込みが見られた店舗もあり、入店客数は11か月連続プラスの3.5%増。秋を打ち出した食品や雑貨、ファッションなどの企画も人気で、売上高は2か月連続プラスの0.3%増となった。
- (2) 商品別では、雑貨が22か月連続プラス(2.4%増)。国内外ともに好調な化粧品は、秋のコスメフェア、WEBやSNSのタイアップ企画も好評で42か月連続増。その他雑貨も、趣味性の高い商品が動いた他、一部店舗で外商特需もあり10か月連続プラス。
- (3) 食料品は、前月より1.4ポイントアップし2か月連続プラス(2.3%増)と増勢。生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品ともに対前年増となった。秋商材の季節菓子や、敬老の日をはじめとしたパーティや集いの場用として惣菜も好調であった。
- (4) 衣料品は、気温の低下に伴いコートやブルゾンなど秋冬物アウターやジャケット、スーツ、ワンピースなどが動き、前年並み(0.2%減)。紳士服・子供服は前年をクリアした。
- (5) 身のまわり品は、雨傘などレイングッズやブーツ、スポーツシューズ、ラグジュアリーブランドのバッグは堅調であったが、一部改装工事による売場面積縮小の影響もあり、前年には届かなかった(0.4%減)。
- (6) 10月中間段階の商況は、4.2%減(10/16)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 7店、②変化なし: 8店、③減少した: 4店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、彼岸)の売上 (同上/有効回答数12店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 8店、③減少した: 3店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2018年09月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>118,835,167</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>
紳士服・洋品	8,857,372	7.5	1.2
婦人服・洋品	21,558,628	18.1	-0.3
子供服・洋品	2,214,304	1.9	1.1
その他衣料品	2,107,297	1.8	-4.8
<b>衣 料 品</b>	<b>34,737,601</b>	<b>29.2</b>	<b>-0.2</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>17,471,636</b>	<b>14.7</b>	<b>-0.4</b>
化粧品	14,356,339	12.1	4.1
美術・宝飾・貴金属	8,712,306	7.3	-1.3
その他雑貨	5,371,328	4.5	4.2
<b>雑 貨</b>	<b>28,439,973</b>	<b>23.9</b>	<b>2.4</b>
家具	1,629,344	1.4	1.9
家電	430,502	0.4	-40.1
その他家庭用品	3,218,049	2.7	-8.5
<b>家庭用品</b>	<b>5,277,895</b>	<b>4.4</b>	<b>-9.5</b>
生鮮食品	4,020,000	3.4	1.9
菓子	6,764,312	5.7	2.8
惣菜	6,063,966	5.1	1.6
その他食料品	8,726,428	7.3	2.5
<b>食 料 品</b>	<b>25,574,706</b>	<b>21.5</b>	<b>2.3</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2,713,025</b>	<b>2.3</b>	<b>-5.9</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,852,729</b>	<b>1.6</b>	<b>-4.8</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,767,602</b>	<b>2.3</b>	<b>0.6</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,817,028 千円	0.2
従業員数	17,726 人	-2.4
店舗面積	841,407 m <sup>2</sup>	-0.3
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が22か月連続、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が3か月連続、身のまわり品と家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が42か月連続、その他雑貨が10か月連続、子供服・洋品、家具、惣菜、その他食料品が2か月連続、紳士服・洋品、菓子が3か月ぶり、生鮮食品が31か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.3</b>	<b>—</b>	<b>2か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	1.2	0.1	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	1.1	0.0	2か月連続プラス
その他衣料品	-4.8	-0.1	3か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
化粧品	4.1	0.5	42か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-1.3	-0.1	3か月連続マイナス*
その他雑貨	4.2	0.2	10か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>2.4</b>	<b>0.6</b>	<b>22か月連続プラス</b>
家具	1.9	0.0	2か月連続プラス
家電	-40.1	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-8.5	-0.3	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-9.5</b>	<b>-0.5</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	1.9	0.1	31か月ぶりプラス*
菓子	2.8	0.2	3か月ぶりプラス*
惣菜	1.6	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	2.5	0.2	2か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>2.3</b>	<b>0.5</b>	<b>2か月連続プラス</b>
食堂喫茶	-5.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	-4.8	-0.1	3か月連続マイナス
その他	0.6	0.0	9か月ぶりプラス
<b>商品券</b>	<b>0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>